



平成 27 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清 水 満 晴
コード番号 6967 東証第 1 部
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
清 野 貴 博
〒(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 山 本 正 巳
コード番号 6702 東証、名証各第 1 部

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 26 年 10 月 22 日発表)	142,000	3,500	5,900	4,000	29.61
今 回 修 正 予 想 (B)	142,800	4,500	8,900	6,400	47.38
増 減 額 (B-A)	800	1,000	3,000	2,400	—
増 減 率 (%)	0.6	28.6	50.8	60.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	140,412	9,315	14,501	9,309	68.91

2. 修正の理由

半導体市場は、高成長が続くスマートフォン向けやエレクトロニクス化が進展する自動車向け等の旺盛な需要に牽引された一方で、パソコン市場向けは依然として低調のまま推移しております。

当社におきましては、フリップチップタイプパッケージの市場価格低下や、アセンブリ事業がスマートフォン向けの需要変動の影響等を受けましたが、為替相場における円安・ドル高の進行が寄与するとともに、市場ニーズに即した生産体制の強化や積極的な受注活動を展開したことなどにより、スマートフォン、自動車向けにリードフレームの需要が拡大し、半導体製造装置向けのセラミック静電チャック等の売上が増加したことなどにより、収益面において、想定を上回る見込みとなりました。

このような状況をふまえ、平成 26 年 10 月 22 日に発表いたしました平成 27 年 3 月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上